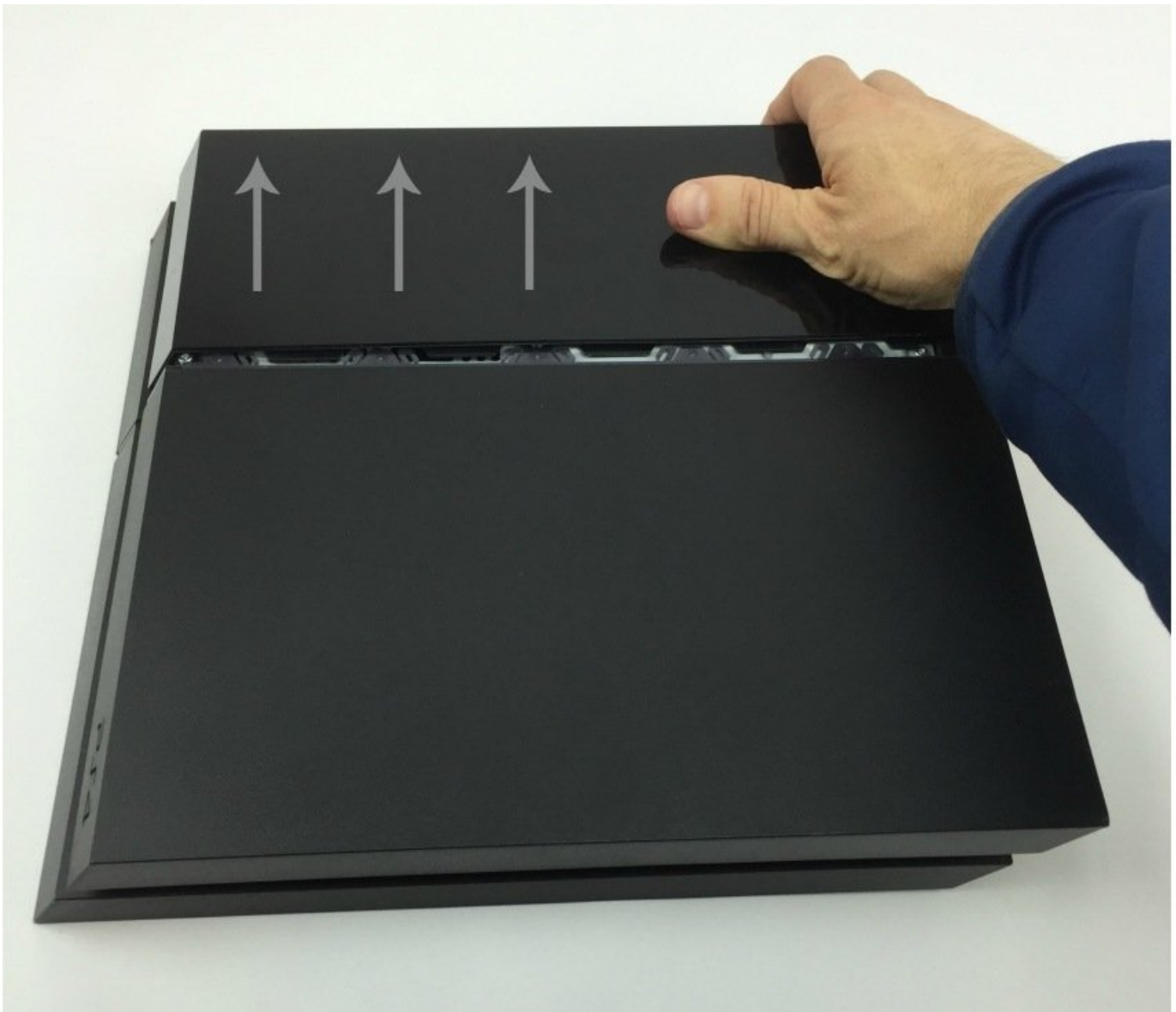




# Play Station 4の電源がついてすぐ消える問題を解決する

この修理はPlay Station 4の電源がついてすぐ消える問題を解決するものです。コンソール内部を未開封の家庭用ゲーム機のうち、約70%がこの方法で修理できます。

作成者: TronicsFix



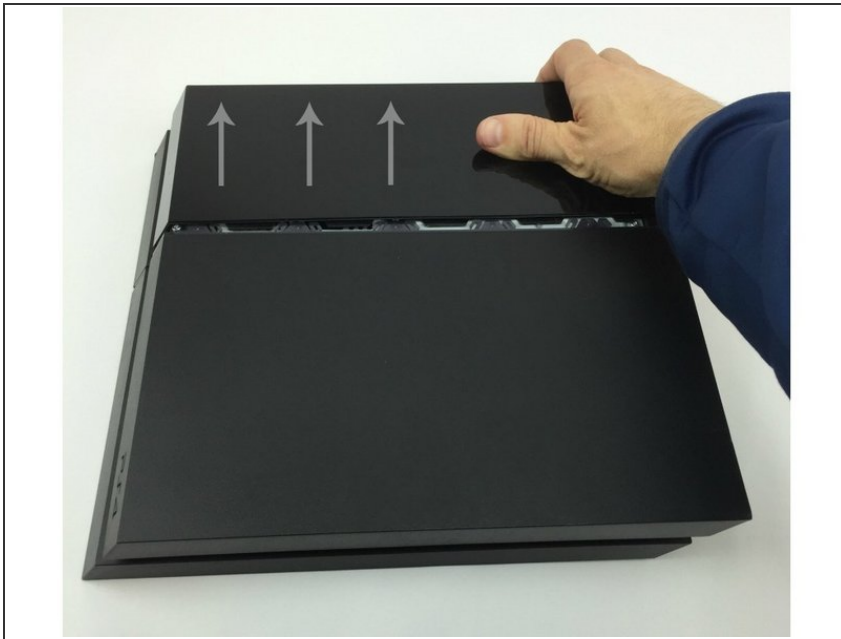
## はじめに

ほとんどの人が何の問題もなくかなりシンプルに修理できます。

※このガイドを使うのは自己責任の基で行ってください。TronicsFixは一切の責任を負いかねます。このガイドを使って起きる可能性がある、どんな損害に対しても責任は持ちません。

### ツール:

- T8トルクスネジ用ドライバー (1)
- #1 プラスネジ用ドライバー (1)
- 6 Nylon Washers (1)

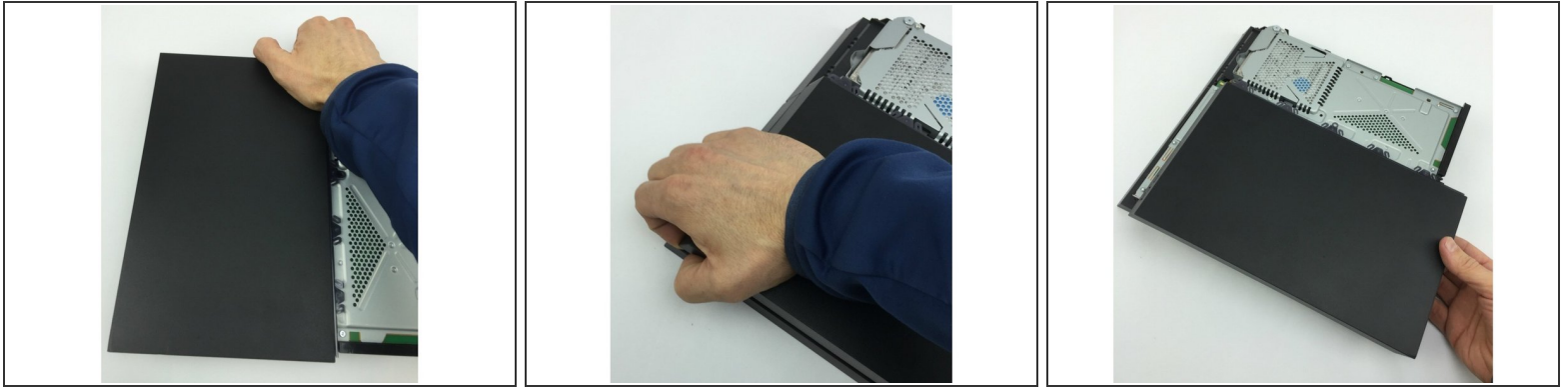
**手順 1 — ハードドライブからプラグを抜いて外します。**

- PS4をすべてのケーブルから接続を外します。
- ハードドライブのカバーを外してください。

**手順 2 — トップカバーのねじを外します**

- トップカバーから、2本のT8トルクスねじを取り外します。
- 保証ステッカー（まだ剥がしていない場合）を剥がし、T8トルクスドライバーを使用して、トップケースの黒いねじを取り外します。

### 手順 3 — トップカバーを外します



- トップカバーの右前端を引き上げます。
- 右前端が緩んだら、左前端を引き上げます。
- トップカバーを手前に引き、脇に置きます。

### 手順 4 — APU/ヒートシンクねじを外します



- PH1 プラスドライバーを使用して、APU/ヒートシンクの2本のねじを取り外します。

## 手順 5 — ワッシャーのインストール



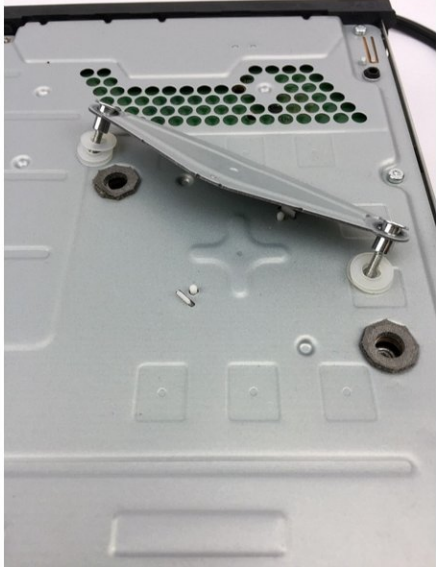
- まず2つのワッシャーをそれぞれのねじの下に取り付けます。
- クランプとねじを取り付け、ねじを締め付けます。

## 手順 6 — PS4をプラグインして電源をオンにします



- 電源コードをPS4に差し込みます。
- PS4の銅パッドに触れて、電源をオンにします。
- PS4の電源がオンのままで安定したら、修理が成功したものと考えてください。安定しない場合は、次の手順に進みます。

## 手順 7 — 各ねじの下に3つ目のワッシャーを取り付けます



- 2つのワッシャーを取り付けても、PS4がうまく動作しない場合は、ヒートシンクのクランプを取り外し、それぞれのヒートシンククランプのねじの下に、3つ目のワッシャーを取り付けます。

## 手順 8 — コンソールの電源を入れます



- 3つ目のワッシャーを取り付け、ねじを締め付けたら、マザーボードの電源パッドに触れます。
- PS4から全くノイズが発生せず、ライトも点灯しなければ、ねじを強く締め付けすぎているので、ほんの少し ( 1/8回転 ) ねじを緩めて、再度電源をオンにしてみましょう。本体の電源がオンになるまでこの手順を実行します。
- 上記の手順を実行しても、まだ本体の電源がオンからオフになる場合、残念ながらこの修理方法では、あなたのPS4は修復できません。

## 手順 9 — その他の支障がある場合



- 正常に動作していた後に、お使いのPS4の電源がオンにならない（またはオンになってもオフに戻る）場合は、カバーを取り外して、プレートのねじを締め付けてみてください。ねじを締め付けが強すぎるとPS4は全く動作しません。システムの電源がオンになるまで、わずかに緩めます。本体のプラグを差し込んだままの場合は注意してください。可能ではありますが、お勧めできません。

## 手順 10 — 見落としがちな問題



- カバー全体をPS4から取り外している状態で、正常に動作している場合は、必ずカバーを元の場所に取り付けてください。このカバーは、ファンからのエアフローを分配して、システムを冷却するように設計されています。これにより、オーバーヒートが発生すると、自動で電源がオフになります。

デバイスを組み立て直すには、これらの手順と逆の順序に従ってください。